

令和6年度 美術科 <第2学年> 年間指導計画と評価規準

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の動きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

第2学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法	
4	螺鈿調イヤホンケース<6時間>	《デザイン・鑑賞》 1 螺鈿作品を知る 2 デザインし螺鈿調のシールを貼る	知	どのようにして、螺鈿はできているのか理解し、実際に手順を踏みながら体験を通して、理解を深める。素材や用具を生かして、丁寧に制作することができる。	定期テスト 授業観察 鑑賞ワークシート
			思	伝統的な技法やデザインの意図にあった材料や用具を工夫し、手順などを考えながら制作することができる。目的や条件、色彩や模様との調和を考えて構想を練る。	
			主	螺鈿によって作り出された作品を鑑賞し、色や模様的美しさ、自然とのつながりから生まれた造形の美について自分の考えを言ったり、聞き入れたりすることができる。自分の身の回りにあるシールで似たものを作り出すことができるという楽しさや、自然との繋がりを感ずることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	
5	デザインスマホスタンド<5時間>	《デザイン・鑑賞》 暮らしに溶け込むアートを見つける。(描く)	知	対象の特徴、印象、形、質感などを、線の強さや明暗、色彩を工夫して立体的に描くことができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
思			身近なものの特徴や美しさなどをもとに、形や色彩、質感などをどのように表現したらいいのか考え、試行錯誤している		
主			身近なものの特徴や美しさなどを描いてみることに関心を		
6					

7				もち、意欲的に取り組むことができる。自分や友達の仕事の良さや美しさを感じることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている	
8	夏の課題 暮らしに息づくパブリックアート	町に繰り出して、暮らしに溶け込むアートを見つける。(写真を撮るまたはデッサンをする)	知 思 主	パブリックアートとは何かを考え、町の中でどのような役割をしているのか具体的に考えることができる。 町の中でどのような役割をしているのか具体的に考えることができる。 作者の制作した意図や狙いは何なのか、考え言葉としてまとめることができる。 町の中を積極的に探索し、どのようなところにパブリックアートがあるのか見つけることができる。 自分だったら、どのようなアートをどこにおいて、どんなメッセージを届けたいか具体案を表現することができる。	定期テスト作品
9	デザインスマホスタンド続き ～ <2時間>	《デザイン・鑑賞》 暮らしに溶け込むアートを見つける。(描く)	知 思 主	対象の特徴、印象、形、質感などを、線の強さや明暗、色彩を工夫して立体的に描くことができる。 身近なものの特徴や美しさなどをもとに、形や色彩、質感などをどのように表現したらいいのか考え、試行錯誤している 身近なものの特徴や美しさなどを描いてみることに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。自分や友達の仕事の良さや美しさを感じることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている	定期テスト作品 授業観察 振り返りシート
10	身近な自然から色を作る ～手から手へ受け継ぐ・伝統工芸の技と心を知る～ <5時間>	《工芸・表現・鑑賞》 1 染色によって作り出された作品鑑賞 2 染の歴史 3 野菜の皮でハンカチを染める 4 作品鑑賞会	知 思 主	どのようにして、染め物はできているのか理解し、実際に手順を踏みながら、染の体験を通して、理解を深める。素材や用具を生かして、丁寧に制作することができる。 伝統的な技法やデザインの意図にあった材料や用具を工夫し、手順などを考えながら制作することができる。 目的や条件、色彩や模様との調和を考えて構想を練る。 染色によって作り出された作品を鑑賞し、色の模様の美しさ、自然とのつながりから生まれた造形の美について自分の考えを言ったり、聞き入れたりすることができる。自分の身の回りにある野菜の皮で色を作り出すことができるという楽しさや、自然との繋がりを感ずることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	定期テスト 授業観察 鑑賞ワークシート
11	くっつきマスコット <10時間>	塑像、彫刻》 1 生活に使えるマグネット 2 紙粘土の表現 3 彫刻刀の使い方	知 思 主	対象の特徴、印象、形、質感などを、線の強さや明暗、色彩を工夫して立体的に描くことができる。 身近なものの特徴や美しさなどをもとに、形や色彩、質感などをどのように表現したらいいのか考え、試行錯誤している 身近なものの特徴や美しさなどを描いてみることに興味を	定期テスト作品 授業観察 振り返りシート

12			もち、意欲的に取り組むことができる。自分や友達の仕事の良さや美しさを感じることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている	
	文化の出会いがもたらしたもの ～日本美術が西洋美術に与えた影響～ <2時間>	《鑑賞》 1 印象派以前の作品と印象派作品の比較鑑賞 2 表現の変革期とジャポニスム	<p>知 作品の比較鑑賞を通して、西洋美術のこれまでの傾向と、なぜ印象派が生まれたのかを考えることができる。また、日本ブームが生まれた時代背景や、日本とヨーロッパの作品の比較鑑賞を通じた国際理解、美術文化の継承と創造を考えることができる。</p> <p>思 比較鑑賞を通して、それぞれの時代の作品の特徴を観ることができる。構図や色彩、線などに着目して、日本美術の作風や印象がどのように生かされているのかとらえることができる。</p> <p>主 西洋美術の変遷に関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる。ジャポニスムの表現の特色や美しさ、時代背景などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる。</p>	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
1	雪舟に学ぶ水墨画の世界～墨の濃淡で作る世界～ <5時間>	《鑑賞・表現》 1 墨画 2 雪舟 「秋冬山水図」の鑑賞 3 技法	<p>知 水墨画の技法を理解し、実際に筆と墨をある程度、使いこなすことができる。雪舟の作品の模写を通して、墨の濃淡を効果的に使うことができる。</p> <p>思 作品に描かれてある事物や、構図、墨の濃淡などから何が描かれているのか考えることができる。水墨画のにじみや微妙な明暗の変化を感じ取り、表現に生かすことができる。</p>	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート 鑑賞ワークシート
2			描かれてある事物などが何なのか考え、友人と意見を交換し合うことができる。水墨画独特の表現の面白みに気づき試行錯誤している。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	
3				